



国際ロータリー第 2620 地区(静岡・山梨)
米山記念奨学生学友会

会報 Vol.9-10 合併号(2018-19 年度)

創立 10 周年記念特集号



2019 年 5 月発行

目 次

(敬称略)

1. 感謝の気持ち・・・・・・・・・・・・・・・・・・米山学友会会長 ラシタ・エリヤーワ
2. 米山学友会への想い・・・・・・・・・・・・・・・・・・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長 齋藤直美
3. 創立 10 周年記念式典によせて・・・・・・・・・・・・・・・・・・地区アドバイザー 井上雅雄
4. 米山学友会に寄せて・・・・・・・・・・・・・・・・・・地区ガバナー 星野喜忠
5. 米山学友会創立 10 周年を迎えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・地区米山記念奨学委員長 長田達彦
6. カウンセラーとしての日々を終えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・米山奨学生カウンセラー 堤 明伸
7. 終了式にあたっての謝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・米山奨学生 マイ ティ フオン ズン
8. 学友会の創立を振り返って・・・・・・・・・・・・・・・・・・元地区米山記念奨学委員長 渡邊富夫
9. ロゴマークで見る学友会の歩み
10. 今年度の活動記録 (写真)
11. 2018-19 年度学友会理事役員リスト
12. 2018-19 年度学友会正会員リスト
13. 2018-19 年度期間終了した米山奨学生リスト
14. 2019-20 年度継続・新規米山奨学生リスト
15. 2019-20 年度主な行事
16. 編集後記

表紙写真：林双会員 (中国/2013-14 年度/掛川グリーン RC)

1. 感謝の気持ち – ごあいさつ

2620 地区米山学友会 2018-19 年度会長

ラシタ エリヤーワ (スリランカ/2006-07/甲府南RC)



当学友会の創立から10年、早いようで短い10年間でした。10周年という節目の年に会長を務めることができ、とても光栄に思っています。2019年3月3日米山梅吉記念館にて当学友会の今年度最も重要な創立10周年記念式典を開催いたしました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長 齋藤直美様をはじめ多くの方々に参加して頂き、素晴らしい式典を開催することができました。少ない人数で当学友会を設立し、ここまで成長させ、この盛大な10周年記念式典の開催に至る道に協力してくださった皆様に心から感謝いたします。記念式典では「10年間の歩み」、「現在に感謝」、そして「未来に向けて」という3つのテーマで学友会の活動と夢を語るすることができました。さらにスリランカやモンゴルの楽しいエンターテイメントを参加者の皆さんに披露することで異文化交流ができたと考えています。

今年度は昨年に引き続き海外奉仕活動のプロジェクトを企画しました。当学友会の理事

であるボロルトヤさんの提案のもとに「モンゴルの子どもたちに夢の絵本を贈ろう」という素晴らしいプロジェクトです。現地での贈呈式は世界米山大会「絆 in モンゴル」に合わせて2019年7月下旬に実施する予定ですが、今年度は絵本集めと現地に配送まで行うことができました。沢山の絵本を送ってくださった皆さんに心から感謝いたします。責任を持って現地の子供たちにお届けします。

また、モンゴルの絵本プロジェクト以外にも沢山の活動を行いました。当地区のロータリー財団学友会の「山静学友会文化祭」、「柿田川湧水公園清掃作業」、ロータリークラブでの卓話など、様々なイベントを通じてロータリアン、米山奨学生、他地区学友会のメンバー、当学友会の皆さんとの多彩な交流ができた一年でした。

10年間が経過しましたが、次の10年、そして50年後に向けて当学友会は走り続けたいと考えています。今後ともご指導とご協力をお願いいたします。



元地区米山記念奨学会委員長小野毅様とのツーショット

2. 米山学友会への想い

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長

サイトウ タダミ
齋藤 直美（豊田ロータリークラブ）

学友会創立10周年記念を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。貴重な過去の学友会報を読ませていただきますと、「他地区の学友会は既に20年以上も前に結成されているのに、我が地区はまだ…」と危機感を持たれ一念発起した小野毅氏 元地区米山奨学委員会委員長さんの燃えるような想いで、地区内をかけ巡り、1年足らずで学友会を発足させたエピソードを知りました。この事は、簡単には出来ることではありません。決意し一歩前へ足を踏み出し、汗を流すロータリアンが居て、それに応えてくれる学友が存在してこそ、初めて創立総会の日を迎えることができたと思います。

とにもかくにも10年が過ぎようとしていますが、10年は一区切りです。社会に出てからの10年、その道一筋の10年は、「一人前になった本当のスタート台」の時期です。貴学友会は、五人の会長の御努力のお陰で今日を迎えられました。これからはロータリアンとの交流、他国の学友との交流、母国の学友との交流等を通して、世界平和をめざす世

界的ネットワークの構築への努力が求められます。ロータリアンとの交流によって、“あなた”と世界とを結び、ロータリー運動の良き理解者となるべき人材に大きく育てていただくことを望んでいます。

今から15年前、私は一人の米山奨学生のカウンセラーをしました。あまりにも素晴らしい青年でしたので、家内ともどもいつの間にか彼の追っかけになってしまいました。彼の御両親に会い、フィラデルフィアのトーマス・ジェファーソン研究所を訪ねその研究成果を聞き、長男誕生を祝して鯉のぼりをプレゼントしたり追っかけ冥利に浸って今に至っています。昨年12月23日に北京の学友会の集まりで再会しました。お互いに顔を見ただけで、「無事であり順調である」ことが解りました。私は、このような学友のお一人と巡り合えたことをこの上ない人生の財産だと感じています。

今日からも世界の米山学友として活躍されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



米山記念奨学会の岩邊俊久事務局長(左)と米山学友の韓霏さん(右、中国/1996-98/豊田RC)とともに。

3. 創立 10 周年記念式典によせて

RI 第 2620 地区アドバイザー

イノウエ マサオ

井上 雅雄（甲府南ロータリークラブ）

RI 第 2620 地区米山記念奨学生学友会創立 10 周年おめでとうございます。

私は、2006-2007 年の当地区ガバナーを拝命し、3,000 名のロータリアンと共に奉仕の輪を拡げる活動をいたしました。

その年、米山学友会設立準備のために予算化をしたのですが実現しませんでした。その 2 年後、牧田ガバナー年度に全国 33 番目の米山学友会として設立されました。今は、5 代目の会長ラシタ エリヤワ君が、すばらしい運営をされ、いろいろと事業を展開しています。また、彼は私が所属する甲府南 RC の正会員にもなりました。

ラシタ君の出身国はスリランカですが、私は、そのスリランカの初代大統領ジャヤワルダナ大統領のことが書かれた書物を読みました。この方は、1951 年 9 月のサンフランシスコでの講和会議で、各国代表の出席者に対し、日本に対する寛容と慈悲を呼びかけ賠償請求権の放棄を宣言しました。そして、敗戦当時、一部の国々の主張する「日本分割案」に真っ向から反対したそうです。この勇気ある演説が口火となり、独立した自由の国、日本の戦後復興の第一歩が踏み出されました。

私がこの本を手にしたのは、一ヶ月前のことと偶然のことでした。このジャヤワルダナ

大統領の寛容と慈悲の心は、米山梅吉翁が緑岡小学校の生徒に常に口にされ教えられた「人々にしてほしいとあなたが望むことを人々にもその通りにせよ」の理念と相通ずるものがあると思います。

日本のロータリアンは米山梅吉翁が逝去された後、その崇高な奉仕の理念を実現するべく「ロータリー米山記念奨学会」を設立し、日本における民間最大の奨学金制度を確立し現在に至っています。

本米山学友会も、益々大勢の奨学生と共に、世界平和と人々の幸せの為に、活躍されるよう祈念いたします。



創立記念式典にて、(左から)ラシタ君、梁一強 2580 地区米山学友会理事長、齋藤直美ロータリー米山記念奨学会理事長、林琮愛米山学友会会長とともに。

4. 米山学友会に寄せて

RI 第 2620 地区 2018-19 年度ガバナー

ホシノ ヨシタダ

星野 喜忠 (大月ロータリークラブ)

米山学友会の皆さん、こんにちは。米山奨学制度は、日本で最初のロータリークラブを設立した、米山梅吉氏の功績を記念して東京ロータリークラブが設立したものが原点であります。米山梅吉氏は、彼の「何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りにせよ」という言葉にあるように、「他人への思いやりと助け合い」の精神を、身を持って行う奉仕の人でした。米山梅吉氏の遺徳を偲んで作られたこの制度は、いまや日本で外国人留学生を支援する民間最大の奨学団体へと成長しました。

今年度も当地区米山学友会は、ラシタ エリヤーク会長を中心に委員会事業への協力をはじめ、9月の柿田川湧水地清掃や10月の地区大会への協力のほか、モンゴル子どもたちへ本を贈る事業など、生き生きとした活発な活動を行われました。

バリー・ラシン R I 会長のテーマは“BE THE INSPIRATION”です。今年度の活動を通して、私たちはどのようなインスピレーションになれたのでしょうか。これからもロータリーの奉仕活動を通して、お互いに、また、世の中にとって素晴らしいインスピレーションになれるよう、まい進いたしましょう。

ウィリアム・シェイクスピアの「お気に召すまま」の中からの一節を、皆さんへ贈りたいと思います。

All the world' s a stage,
And all the men and women merely players;
They have their exits and their entrances,
And one man in his time plays many parts,
His acts being seven ages.

「世界は一つの舞台だ。そしてすべての人間は男も女も役者にすぎない。めいめい出があり、引っ込みがある。しかも一人が一生に沢山の役を務め、その全幕は七つの時代からなる」というものです。七つの時代とは生まれてから老人になるまでの段階を指しています。これからも輝かしい人生の舞台が切り開かれていかれますよう、おのおのが誠実にご自身の「ステージ：舞台」を過ごしてください。米山学友会の皆さんが活躍されることが、すなわちロータリーが発展することだと考えております。

米山学友会の皆さんには、母国と日本との架け橋となられ「世界を舞台」に、これからも大いに活躍されることを祈念いたします。そして、皆さんの中から1人でも多く、ロータリアンが誕生することに期待いたしております。ともにロータリー活動を楽しみましょう！



米山記念奨学生の期間終了式にて(左)

5. 米山学友会創立 10 周年を迎えて

2620 地区米山記念奨学委員会 2018-19 年度委員長

オサダ タツヒコ

長田 達彦（笛吹ロータリークラブ）

平成 31 年 3 月 3 日（日）2018 学年度米山記念奨学生「期間終了式」に続いて 2620 地区米山学友会創立 10 周年式典が米山梅吉記念館にて開催されました。

当日の午前中は、米山記念奨学生、カウンセラー、大学関係者、地区役員・委員、米山学友会より、総勢 65 名が参加し、星野ガバナー、井上アドバイザーより挨拶を頂き、米山記念奨学生には終了証書と記念品、一年間奨学生を温かく見守っていただいたカウンセラーには感謝状と記念品が贈呈されました。カウンセラーを代表して甲府ロータリークラブの堤明伸カウンセラーより二年間の思い出等贈る言葉、米山記念奨学生を代表してマイティフォンズンさん（世話クラブ・甲府 RC）より感謝の言葉を述べていただきました。

引き続き、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長の藤直美氏をはじめ、安間ガバナーエレクト、小林総一郎ガバナーノミニージェグネイト、地区パストガバナー等、大勢の地区内外の役員、歴代の米山委員会委員長、学友にご参集を頂き、期間終了式を終えたばかりの奨学生および世話クラブカウンセラーとともに 2620 地区米山学友会創立 10 周年記念式典が賑やかに開催されました。

誕生：「歩み」で創立以来の 10 年を振り返り、現在に感謝：「友情」と題して現状の活動を紹介し、未来に向けて：「展望」では影山次期米山委員長と第三代米山親善大使のボロルトヤさんにより次の 10 年への展望が示されました。

約 110 名の参加者により、ささやかな懇親記

念パーティーを記念館のロビーで行い、心に残る創立 10 周年記念式典となりました。

改めてこの 1 年を振り返りますと、7 月の第 1 回地区米山記念奨学委員会・「年間活動方針の確認及び米山学友会総会」、8 月には「指定大学 14 校への訪問説明会」と優秀な奨学生候補の推薦依頼を行い、9 月には 2580 地区の米山学友・奨学生とともに「柿田川湧水地清掃奉仕活動」を実施、10 月は前年度 4 月からスタートしている「米山奨学生・カウンセラー研修セミナー」と、地区大会への参加を機会にして奨学生・学友会の交流会を開催。ホームカミングも例年通り実施しました。11 月には「面接官対象オリエンテーション」を実施、12 月には「面接選考試験」及び指定校への合格者通知。

1 月から 2 月にかけて世話クラブの引き受け依頼と奨学生のマッチング作業。3 月には 4 月よりスタートしていた奨学生の卒業式にあたる「期間終了式」を実施し、4 月には地区研修協議会及び「新米山奨学生・カウンセラー研修セミナー」を実施しました。5 月は実質的な新奨学生の配属クラブ例会参加のスタート、そして 6 月 米山奨学生選定基準の策定と次年度への「引継ぎ式」委員会の開催。

こうして米山記念奨学委員会活動の 1 年が終了します。すべての行事・活動に 2620 地区米山学友会の皆さんが共にいて、年間活動が成立しています。

10 年間ありがとう、そしてこれからもよろしくお願いします。

6. カウンセラーとしての日々を終えて

米山奨学生カウンセラー

ツツミ アキノブ

堤 明伸（甲府ロータリークラブ）

初めてズンさんと甲府ロータリークラブの例会でお会いしたときの第一印象については、「山梨県立大学に在籍しているベトナムからの留学生が米山記念奨学生になっているのだな！」と感じました。

ロータリークラブの国際交流に興味を持っていたので、カウンセラーを任命されました。夜間例会の後でカラオケ屋さんに行ったときに、日本語の字幕を読みながら歌うことには正直びっくりしました。

それから、彼女の生い立ちなどを聞いてみると、母国語、英語、日本語を理解し、持ち前の努力家で食欲に知識を吸収する姿を見て、「しっかり勉強している学生さんだな」と感じました。

また、会員と多く交流したいとの希望で、出来るだけ例会に参加され、月初めの奨学金授与の時のスピーチの日本語もだんだんと流暢になって行くことも実感しました。スピーチの中では、米山記念奨学生になり奨学金を頂くことで、学費や生活費に当てることにより、勉強に集中できる事に感謝をしている事とお世話になっている山梨県や甲府ロータリークラブに恩返しをしたいという言葉に強い決意を感じました。

ここで、2つの思い出を紹介します。

1つ目は、平成29年の大晦日に我が家の食事会にお招きした時のことです。夕食後、我が家での恒例のトランプ大会で、ババ抜きとか七並べをしたのですが、すぐにルールを覚えて勝ってしまうのです。各回とも一等にはポッキーとかお菓子を商品にしますが、しっか

りゲットしていきました。翌日の元日は朝から私の母が作ったお雑煮とおせち料理、その後、人生初のスキーを楽しみました。

2つ目は、昨年8月末から、3泊4日の行程にて甲府ロータリークラブ有志10名でベトナム旅行に行ったことです。ズンさんが空港に出迎え、早速実家へ移動してご両親にお会いし、お母様の手作りの食事を頂きました。ズンさんも実家だったのでとてもリラックスしており「娘の顔」になっていたことが印象的でした。その後、大学での研究テーマのベトナム観光のツアーを山梨県立大学の安藤先生と共に体験しました。高床式の宿に泊まり現地の方との夕食と歓迎のダンスや瓶に入ったお酒など大いに楽しませていただきました。きっと旅行会社のツアーでは行かない場所で、たくさんの方が経験が出来たことに感謝します。

カウンセラーとしての約1年半で感じたことは、ズンさんは皆さんに愛される人だと思います。カウンセラーの役目は終わりましたが、これからも応援していきたいと思っています。



ハノイのズンさん(左端)家の近くで、クラブのメンバーとともに

7. 終了式にあたっての謝辞

2620 地区米山奨学生

マイ ティ フオン ズン (ベトナム、2017-19、甲府RC)

花咲く季節となりました。桃の香りに春を感じる本日私たちのためにこのように盛大な終了式を開いていただきまして、ありがとうございます。また地区米山記念奨学委員会の長田委員長をはじめ、ロータリアンの皆様、カウンセラーの皆さんから温かいお言葉を頂き、胸が熱くなる思いがしております。本当にありがとうございます。

こうして米山梅吉記念会館において、終了証書をいただくと、私たちが米山記念奨学生として過ごした1、2年間のいろんな出来事が次々に頭の中によみがえってきます。2年前には満開の桜のもと、奨学生になるオリエンテーションをここで迎えました。米山記念奨学生になって経済的な支援だけではなく、「世話クラブ・カウンセラー制度」のおかげで、例会で母国のことや自分の研究について卓話（スピーチ）したり、クラブ・地区の社会奉仕活動、交流会に参加したりと、ロータリーの活動を通じて、日本の文化や地域社会と触れ合うさまざまな機会が提供されました。そして学生の身では、お話しすることすらできない、日本の企業家の方々から直接学び、交流できたことが私たちの一生の宝物です。国内だけではなく、私は世話クラブの方と指導教員とともにベトナムの旅もできました。日本で大変お世話になっているロータリアンの皆様と母国の父、母と過ごしたその夏の喜びと感動を忘れられない思い出となっています。また、私はロータリアンの皆様のおかげで就職も決まりました。

今日、私たちはこの奨学生の期間を終了し

ます。本音を明かしますと、この先、私たちの前に広がっている世界を見て、不安に身が震えるような思いがする一方で、期待に胸が膨らみ、わくわくするような思いも致します。これからどのような人と出会い、どのようなことを学んでいくのか私にもまだわかりません。ただ、唯一わかっていることは、私はどのようなつらい事があったとしても、ロータリアンの皆様から頂いた優しさと強さを思い出し、夢を諦めずに前に進みます。

最後に、米山記念奨学委員会をはじめ、そして世話クラブ、カウンセラー、ロータリーの皆様、本当にお世話になりました。私たちは皆さんから受け取った「心」を忘れずに、それぞれの進路へと旅立っていきます。どうかあたたかく見守ってください。そして時にはご指導をお願い致します。終了奨学生を代表し、ここでもう一度心から感謝の言葉を申し上げます。本当にありがとうございました。

(※終了式でのスピーチ原稿を加筆修正したものです)



8. 学友会の創立を振り返って

2620 地区米山記念奨学委員会 2007-08 年度委員長

ワタナベ ヒサオ
渡邊 富夫（長泉ロータリークラブ）

地区米山記念奨学生学友会が創立以来輝かしい活動を積み重ね、ここに創立 10 周年を迎えることができましたこと、誠に喜ばしくお祝い申し上げます。私は学友会の設立にかかわることができ、貴重な経験をさせていただきましたことに感謝しています。

2008 年学友会を立ち上げるために学友会への入会希望者を募ることから始まり、会の運営方針、役員人選、会則の制定など決めなくてはならないことが数多くありましたが、学友会設立に賛同していただいた学友の皆さんに協力をお願いしますと皆さん快く協力していただき、09 年 3 月の奨学生期間終了式の日学友会設立総会を開催することができました。

短期間のうちに設立までこぎ着けられたのは学友の皆さんの積極的な協力があったからです。学友の皆さんは米山記念奨学生として数多くの留学生の中から選ばれた方たちなので、その能力の高さを学友会設立にむけ共に進めるなかで実感することができました。米山記念奨学制度が創られた主な目的として、留学生とロータリアンが交流することによって日本のことをよく理解していただくことにありますが、それは受け入れたロータリアンにも言えることで、留学生の国の文化、言語、考え方などを理解する機会となり、相互理解のための国際交流ができることがこの奨学制度の大きな特徴です。

学友会を立ち上げてあらためて感じたことは、米山学友会は各国から来られた留学生の

集まりですからそれぞれの国の習慣や考え方に違いがあり、組織作り及び事業運営するためにはより一層の相互理解が必要となります。同時に単一民族だけの組織では到底思いつかない新たな創造力もあります。運営には困難もありますが、まさしくロータリーの目的に沿った世界平和に通じる活動だと確信しています。

学友会を立ち上げた時に会をまとめられた顧壽智初代会長、会の運営に関する決まりを整えていただいた沈崗 2 代目会長、事業運営を軌道に乗せていただいた上野佳子 3 代目会長、学友会をここまで発展させられた 4 代目篠原曉恵会長、現ラシタ・エリヤーフ会長、皆様のご努力に感謝申し上げます。

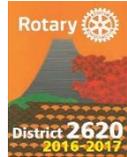
これまでの 5 人の会長は地区米山学友会の創立会員つまり名誉あるチャーターメンバーです。これから 20 年 30 年と学友会を発展させるために、後進の指導も含めよろしく願います。今後一層のご発展をお祈り申し上げます。



米山学友会創立 10 周年記念式典にて

9. ロゴマークで見る学友会の歩み

各年度の RI テーマロゴ、地区ロゴ、ガバナー、米山記念奨学委員長/所属 RC、学友会長/世話クラブ（敬称略）

<p>2008-09</p>  <p>夢をかたちに</p>	 <p>ガバナー 牧田静二/静岡 委員長 小野 毅/三島 学友会長 顧 壽智/浜松</p>	<p>2009-10</p>  <p>ロータリーの未来は あなたの手に</p>	 <p>RI D.2620</p> <p>ガバナー 飯田祥雄/甲府シティ 委員長 坂本茂晴/甲府シティ 学友会長 顧 壽智/浜松</p>
<p>2010-11</p>  <p>地域を育み、大膽をつなぐ</p>	 <p>RI.2620</p> <p>ガバナー 中山正邦/浜松南 委員長 富田 明/浜松南 学友会長 顧 壽智/浜松</p>	<p>2011-12</p>  <p>こころの中を見つめよう 博愛を広げるために</p>	 <p>International District 2620 2011-2012 Rotary</p> <p>ガバナー 積 惟貞(沼津) 委員長 遠藤一郎(山梨中央) 学友会長 沈 崗(東京芝)</p>
<p>2012-13</p>  <p>奉仕を通じて 平和を 田中作次 2012-13年度 国際ロータリー会長</p>	 <p>2012-13 RID 2620</p> <p>ガバナー 高野孫左エ門/甲府 委員長 遠藤一郎/山梨中央 学友会長 上野佳子/東京臨海東</p>	<p>2013-14</p>  <p>ロータリーを 実践し みんなに 豊かな人生を</p>	 <p>RID.2620</p> <p>ガバナー 志田洪顕/静岡 委員長 山崎純男/静岡 学友会長 上野佳子/東京臨海東</p>
<p>2014-15</p>  <p>ロータリーに 輝きを</p>	 <p>Shizuoka Yamanashi 2014-2015</p> <p>ガバナー 岡本一八/浜松北 委員長 小澤邦比呂/パワー浜松 学友会長 上野佳子/東京臨海東</p>	<p>2015-16</p>  <p>世界へのプレゼントになろう</p>	 <p>2015-16 RID 2620</p> <p>ガバナー 野口英一/甲府 委員長 雨宮哲也/甲府 学友会長 篠原暁恵/船橋西</p>
<p>2016-17</p>  <p>人類に 奉仕する ロータリー</p>	 <p>Rotary District 2620 2016-2017</p> <p>ガバナー 生子哲男/清水中央 委員長 中山秀樹/静岡 学友会長 篠原暁恵/船橋西</p>	<p>2017-18</p>  <p>ロータリー: 変化をもたらす</p>	 <p>2017-18 RID 2620</p> <p>ガバナー 松村友吉/焼津 委員長 寺戸常剛/静岡 学友会長 ラシタ エリヤワ/甲府南</p>
<p>2018-19</p>  <p>インスピレーションになろう</p>	 <p>2018-2019</p> <p>ガバナー 星野喜忠/大月 委員長 長田達彦/笛吹 学友会長 ラシタ エリヤワ/甲府南</p>		

10. 今年度の活動記録（写真）



	(1)	(2)
		(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)
(10)		

- (1)～(3) 第10期通常総会(2018年7月8日)
- (4)～(6) 財団学友会の「文化祭」に参加(8月3日)
- (7)～(9) 柿田川湧水公園清掃奉仕活動に参加(9月1日)
- (10) 米山奨学生とカウンセラー研修会(10月14日)



(11)	(12)	(13)
(14)	(15)	(16)
(17)	(18)	(19)
(20)		(21)
	(22)	



- (11)～(17) 地区大会と前夜祭(10月27-28日)
- (18)～(19) パワー浜松 RC の防潮堤植栽活動に参加(11月18日)
- (20)～(21) 2018-19年度米山奨学生期間終了式(2019年3月3日)
- (22) 2019-20年度米山奨学生オリエンテーション(4月14日)



国際ロータリー第2620地区
Shizuoka Yamanashi
米山学友会



11. 2018-19 年度理事役員

役職	氏名 (出身国/世話クラブ)
会 長	ラシタ アサンカ エリヤーワ (スリランカ/甲府南 RC)
副会長	繆 良華 (ボク リョウカ、中国/浜松西 RC)
理 事	チャリット ペレーラ (スリランカ/静岡日本平 RC)
	上野 佳子 (ウエノ ヨシコ、中国/東京臨海東 RC)
	吉田 恵貞 (ヨシダ ケイテイ、台湾/東京練馬西 RC)
	ドー クーン ベト (ベトナム/藤枝南 RC)
	エンフボルド・ボロルトヤ (モンゴル/米沢 RC)
会計 (兼)	上野 佳子
監 事	林 双 (リン ソウ、中国/掛川グリーン RC)
	小沼 孝次 (オヌマ タカツグ、三島 RC)
創立 10 周年 行事実行委員	李 洪 (リ ホン、中国/横浜東 RC)
	蔡 遣 (サイ ケン、中国/パワー浜松 RC)



12. 2018-19 年度正会員リスト

(奨学生番号順)

氏 名	出身国	世話クラブ
篠原暁恵 (シノハラ シャオフエイ)	台湾	船橋西
廣 建志 (コウ ケンジ)	台湾	浜松東
吉田恵貞 (ヨシダ ケイテイ)	台湾	東京練馬西
黄 素妮 (ウォン スーニー)	マレーシア	鈴鹿西
栗本 明 (クリモト メイ)	台湾	駿河
崔 暁冬 (サイ ギョウトウ)	中国	清水中央
上野佳子 (ウエノ ヨシコ)	中国	東京臨海東
熊谷 寧 (クマガイ ネイ)	中国	浜松東
邱 守蓮 (キュウ シュレン)	台湾	神戸西
陳 興華 (チン コウカ)	中国	パワー浜松
ラシタ アサンカ エリヤーワ	スリランカ	甲府南
鄭 清楷 (テイ セイカイ)	中国	静岡南
チャリット ペレーラ	スリランカ	静岡日本平
エンフボルド・ボロルトヤ	モンゴル	米沢
金 相均 (キム サンキュン)	韓国	静岡
バットトグトフ・ハルギウナー	モンゴル	浜名湖
李 洪 (リ コウ)	中国	横浜東
繆 良華 (ボク リョウカ)	中国	浜松西
蔡 遣 (サイ ケン)	中国	パワー浜松
林 双 (リン ソウ)	中国	掛川グリーン
ドー, クーン ベト	ベトナム	藤枝南
鐘 佑希 (ショウ ユウキ)	中国	甲府
于 春蘇 (ウ シュンソ)	中国	パワー浜松
胡 徳 (フ ドウ)	中国	掛川グリーン
呂 姣燕 (ロ コウエン)	中国	清水
燕 少陽 (エン ショウヨウ)	中国	甲斐
グエン ティ グイン チャン	ベトナム	甲府北

13. 2018-19 年度期間終了した米山奨学生リスト

(奨学生番号順)

氏名	国籍	現居住地	世話クラブ
王 仁僑 (オウ ジンキョウ)	中国	東京都	甲府南
マイ ティ フォン ズン	ベトナム	山梨県	甲府
ド ゴック ハン	ベトナム	静岡県	静岡北
姜 春喜 (キョウ シュンキ)	中国	東京都	静岡中央
ウルミ, ジナット フェルドウス	バングラデシュ	アメリカ	浜松東
逢 宇迪 (ホウ ウテキ)	中国	東京都	甲斐
ロー ウィ リン	マレーシア	神奈川県	甲斐の郷
王 相国 (オウ ソウコク)	中国	東京都	甲府西
烏徳巴拉 (ウデバラ)	中国	静岡県	清水
楊 承娟 (ヨウ ショウゲン)	中国	静岡県	静岡
ツァガンバートル, ソロンゴ	モンゴル	東京都	静岡西
宋 復燃 (ソウ フクネン)	中国	静岡県	富士山吉原
フィン ファム クァン アン	ベトナム	愛知県	浜松中
肖 英華 (ショウ エイカ)	中国	大阪府	パワー浜松
張 天成 (チョウ テンセイ)	中国	静岡県	掛川グリーン
張 思倩 (チョウ シセイ)	中国	東京都	笛吹
劉 如月 (リュウ ジョゲツ)	中国	東京都	山梨
スリアディ	インドネシア	インドネシア	沼津北
ハッサン, プロットイ	バングラデシュ	アメリカ	浜松西



14. 2019-20 年度継続・新規米山奨学生リスト



(奨学生番号順)

氏名	国籍	世話クラブ
レー ティ キム ニー	ベトナム	甲府東
アフマド マフムード	パキスタン	甲府北
リジャニ アギスタ	インドネシア	藤枝
王 元培 (オウ ゲンバイ)	中国	駿河
呂 韞鈺 (ロ オンギョク)	中国	山梨
何 佳琪 (カ カキ)	中国	甲斐
車 旼庭 (チャ ミンジョン)	韓国	甲府
レ バ チェン ゴック	ベトナム	甲府南
郭 瑞 (カク ズイ)	中国	甲斐の郷
王 利 (オウ リ)	中国	清水北
ヴー トゥ ハー	ベトナム	静岡日本平
ポカレル ディネシュ	ネパール	静岡
柳 偉傑 (リュウ イケツ)	中国	清水西
サイ ピョー ミエン マオ	ミャンマー	パワー浜松
カッタ ラーララーゲ チャトゥラ マデュサンカ	スリランカ	藤枝南
アウリア アルファラビ アネスティア	インドネシア	静岡西
マイ クアン リン	ベトナム	浜松中
程 宏謨 (テイ コウモ)	中国	浜松ハーモニー
トラン シュアン チュウ	ベトナム	掛川グリーン
余 楽 (ヨ ラク)	中国	都留
金 東熙 (キム ドンヒ)	韓国	伊豆中央
唐 丹 (トウ タン)	中国	沼津西
ジェイン ディヴィヤヌ	インド	浜松西

15. 2019-20 年度主な行事予定

行事内容	実施予定日	場所
第 11 期通常総会	2019 年 7 月 14 日(日)	米山梅吉記念館
「モンゴルの子どもたちに夢の絵本を贈ろう」 贈呈式&世界米山大会	2019 年 7 月 24-29 日	モンゴル
柿田川湧水公園清掃奉仕作業	2019 年 9 月 7 日(日)	柿田川湧水公園
米山奨学生・カウンセラー研修会	2019 年 10 月 13 日(日)	米山梅吉記念館
地区大会	2019 年 11 月 3(日)-4 日(祝)	アクトシティ浜松
米山奨学生期間終了式	2020 年 3 月 1 日(日)	米山梅吉記念館
新規米山奨学生オリエンテーション	2020 年 4 月 19 日(日)	米山梅吉記念館



2019-20 年度地区ロゴバッジ

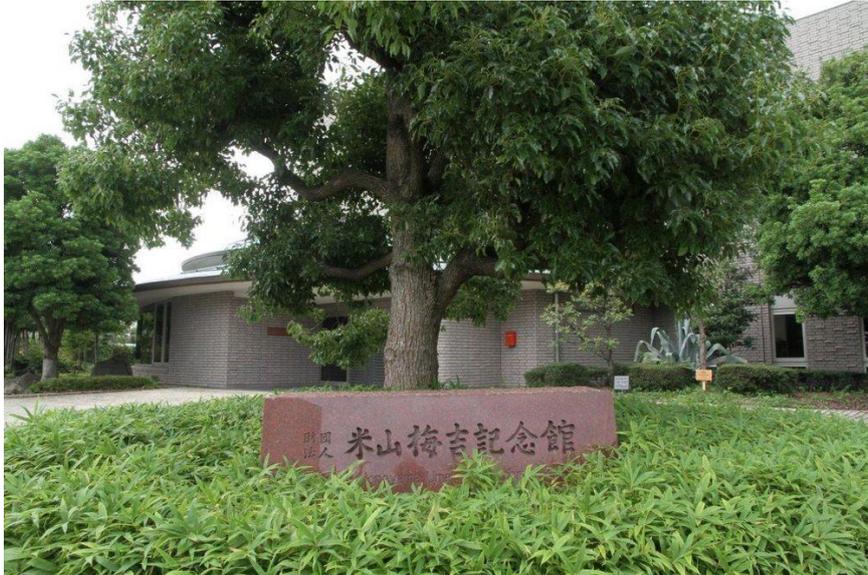
16. 編集後記

令和元年 5 月、薫風の季節に「会報・創立 10 周年記念特集号」をお届けします。

今回は、齋藤直美ロータリー米山記念奨学会理事長をはじめ、井上雅雄地区アドバイザー、星野喜忠ガバナー、長田達彦地区米山記念奨学委員長、堤信明カウンセラー、3 月に終了した米山奨学生のズンさんから、それぞれ心のこもったご寄稿を頂きました。おかげさまで充実した誌面となりました。厚く御礼申し上げます。

2019-20 年度も 19 名の新規米山奨学生がロータリー・ファミリーに仲間入りしました。米山学友・奨学生の皆さんは、次の 10 年も力を合わせて活動を展開していきましょう。次号もご期待下さい。

上野 (本号編集担当)



学友会事務局：

〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1

公益財団法人 米山梅吉記念館 内

Tel : 055-986-2946

Fax : 055-989-5101

メールアドレス yoneyama2620@gmail.com

フェイスブック <http://www.facebook.com/Ry2620>

